

NIE グループ研究会

グループ員：門間 祐二 (池尻小学校) 有附 祥吾 (伊丹小学校)
是兼 早貴 (伊丹小学校) 仲井 敦紀 (伊丹小学校)
赤松 純平 (稲野小学校) 津田 康子 (南小学校)
福本 拓耶 (緑丘小学校) 内田 伸佑 (笹原小学校)
渡邊 賢一郎 (鴻池小学校) 南部 久美江(笹原中学校)
美藤 奈々 (笹原中学校)

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード：NIE 指導力向上 授業改善 言語活動

1 研究テーマ

「NIE を通した授業改善」

2 研究内容

(1) 研究の概要

本研究会は教材として新聞を使うことで、児童や生徒が社会の出来事に興味を持ち、自ら課題を発見して、その解決に向けて主体的に学習に取り組むことで言語活動がより一層充実していくことができればよいと考えて研究を重ねてきた。また、日本新聞協会 NIE アドバイザーであり、兵庫県 NIE 推進協議会特任アドバイザーでもある、授業力向上支援センターの岡本光子コンサルタントの助言をもとに、記事の見つけ方や簡単な実践方法などを紹介し合う活動等を通して、若手の育成にも力を入れた。

(2) 実践事例

① 小学校 国語 第4学年 単元名「アップとルーズで伝える」

ワークシート作りに挑戦

ア 使用記事

2016年10月22日 朝日新聞夕刊より

イ ねらい 「記事に合う写真を選び、写真の良さを見つけよう。」

新聞記事から文を説明するのに適切な写真を選び、使用している意図や良さについて説明することができる。

ウ 内容

(ア) 「アップ」と「ルーズ」のクイズを行う。

(イ) 記事を読み、大事なところに線を引き、わかったことを発表する。

(ウ) どちらの写真が記事の内容に適しているのかを選び、理由を考える。

(エ) グループで交流する。

(オ) 全体で交流し、今日の「わざ」を確認する。

写真を選ぶときには記事の内容に合わせて「アップ」か「ルーズ」を選ぶ。

② 小学校 総合 第4学年 単元名「白杖体験・車いす体験を通して」

ア 使用記事

2015年9月6日 朝日新聞朝刊 読者の投稿「白杖の女性 案内して考えて」より

白杖を持った女性を案内した体験を通して、施設を改善するには時間がかかるが、人々の意識をかえることはできるということに気がついたという内容

イ ねらい 「どんな声かけができるか考えよう」

ウ 実践例

- (ア) 新聞記事を読む。
- (イ) 女性が声をかけた時の気持ちを考える。
- (ウ) どのようにすれば障害者が安心できる社会をつくることができるか、意見を出し合う。
- (エ) 白杖体験をする。
- (オ) 体験を通して気づいたことや、自分でもできる支援について考えをまとめる。



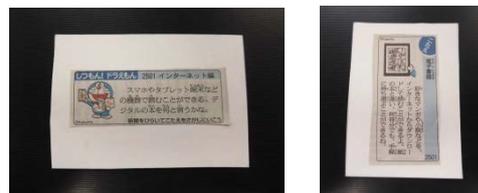
③ 小学校 ことば科 第3学年 単元名「新聞で遊ぼう」

ア 使用教材

朝日新聞 35部

イ ねらい 「新聞にふれ、楽しさを見つけよう」

新聞をめくることにより、多くの写真や記事、新聞広告があることに気づかせる。



ウ 実践例

- (ア) 1人1部新聞を用意し、1面にある「しつもん！ドラえもん」クイズと、その答えを紙面から探す。
- (イ) 答えを見つけることができれば班で新聞を交換し、同じことを繰り返す。(4人班)
- (ウ) 班で1周したらクイズと答えを切り取り、クイズカードを作る。
- (エ) 答えを探しているときに新聞記事の中から見つけた、気になる写真を切り取る。
- (オ) 班で交流し、人気のあった記事と写真をクラス全体に紹介する。(写真を見せる→記事を紹介する)

3 成果と課題 (受講者の感想より)

(1) 成果

- ① 小学校、中学校それぞれの取り組みや実践報告を聞くことができ、日々の授業にも役立てることができた。
- ② 若手教員が参加することにより、実践を行う上での疑問や教材としての新聞の使い方を改めて一緒に学ぶことができた。
- ③ 4人班で共通のテーマで記事を探し、幅広い分野の記事を見つけることで、子どもたちの視野が広がった。NIEの活動が子どもたちの興味関心を高める有効な手立てであるということに改めて実感した。
- ④ 「クイズの答えを探す」という課題のため、楽しんで取り組むことができた。「ページをめくる」「大きなまとまりとして全体を捉え、必要な情報を探す」という新聞の読み方に、自然に取り組むことができた。
- ⑤ 気になる写真をもとに授業をすることで、文字を読むことに抵抗がある児童も進んで授業に参加することができた。

(2) 課題

- ① NIEの授業をグループ研究員に公開し、互いに参観する機会を持って学びを深める必要がある。
- ② 担当学年に幅があったので、グループで設問を考える時には工夫して話し合いを進める必要がある。
- ③ 新聞を読むきっかけをつくることはできたが、子どもに新聞を読む習慣をつけさせるためには継続してNIEに取り組んでいく必要がある。
- ④ 新聞を取っていない家庭が多い中で、子どもに新聞を読むことの良さを味わわせることで、新聞の重要性を子どもから保護者へと発信していけるような取り組みが必要である。